

当院で診療を受けられる患者の皆様へ

皆様の診療の際に得られた経過やデータ、診療の際に得られた血液などの生体試料の残りなどは、将来、同じ疾患の方の診断や治療の発展につながる可能性のある大切な情報です。その時点では具体的には決まっていなくても将来何かの研究に使用することについて、初診時に皆様に同意をお願いしております。

（これを包括的同意といいます）。包括的同意をくださった皆様には、倫理委員会で審査され、問題がないと判断された研究に対して個別に説明や同意を得ることはしていませんが、研究内容の詳細や、対象となる方を院内掲示または本ホームページにて周知いたします。対象となる方のカルテより、年齢、疾患、治療の経過などの情報を収集し、残存し廃棄される予定の胎盤等の検体を利用して頂きます。得られたデータについて統計学的考察をいたします。考察後に得られた知見は、学会や学術論文などで報告をする予定ですが、その時点で個人が特定されるような情報は含まれておりませんので、そのために不利益を被ることはございません。

* 研究については、本ホームページおよび院内掲示にて公開することで情報提供させていただきます。この調査の対象者となっている可能性があり、対象者から外れることをご希望される場合は、お手数ですが主治医または研究代表者にお伝えください。

【研究課題名】

胎盤・臍帯の位置異常を伴う帝王切開手術における手技の評価

【研究期間】

倫理委員会承認後 ～ 2016年 12月 31日

【研究の意義・目的】

胎盤や臍帯の位置異常を伴う帝王切開手術は様々な手技が提案されているが定まったものはない。当科で行っている手技における出血量や術後の合併症等を検討し、安全性や完遂度の高い手法を提案することを目的とする。

【研究の方法】

胎盤・臍帯の位置異常を伴う症例に対し、当科での管理方法や帝王切開術にお

ける手技を用いた際の出血量や術後合併症について、従来提唱されている方法と比較する。

【研究組織】

研究代表者：古山将康

大阪市立大学医学部附属病院 女性生涯医学

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者 片山浩子

住所 〒545-8585 大阪市阿倍野区旭 1-4-3 大阪市立大学大学院医学研究科

電話 06-6645-3862

FAX 06-6646-5800